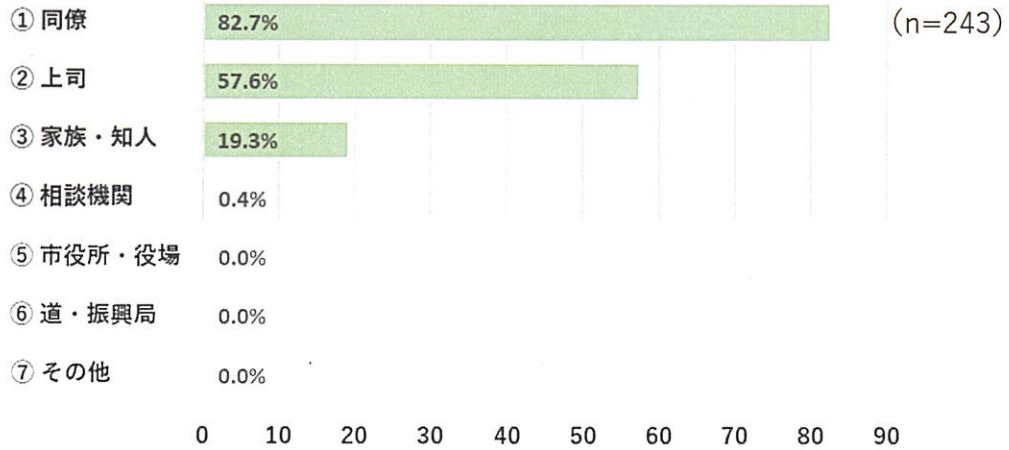


**問4(4)サ 虐待行為等を行った際の相談先【複数回答あり】**

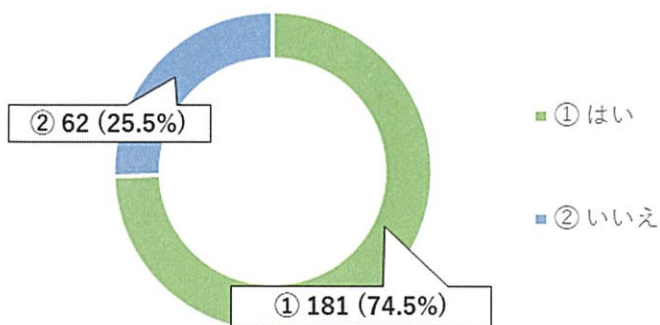
\* 虐待行為等を行った際の相談先は、「① 同僚」が82.7%と最も多く、次いで「② 上司」が57.6%、「③ 家族・知人」が19.3%となっています。



**問4(4)シ 虐待行為等を行った際の相談による改善状況**

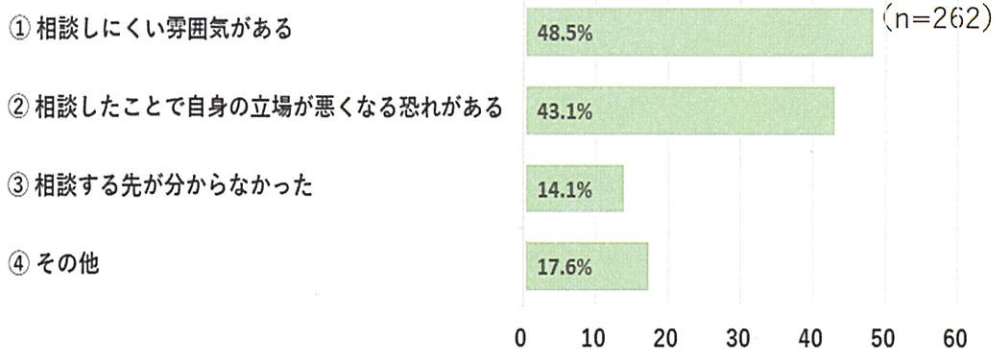
\* 虐待行為等を行った際の相談による改善状況は、「① はい (改善した)」が74.5%となっており、「② いいえ (改善しなかった)」の25.5%を大きく上回っています。

(n=243)



**問4(4)ス 虐待行為等を行った際に相談しなかった理由【複数回答あり】**

\* 虐待行為等を行った際に相談しなかった理由は、「① 相談しにくい雰囲気がある」が48.5%と最も多く、次いで「② 相談したことで自身の立場が悪くなる恐れがある」が43.1%となっています。



<「その他」の主な内容>

1	相談したところで何も変わらないから
2	上司に相談しても無駄だから
3	日常的に同様のことがあるため。
4	自己反省することができているから。
5	自分の気持ちに余裕ないからだと思っているから相談はしていない
6	信頼できる相談相手がいない。
7	施設内で自己評価表を定期的に提出し、その時に施設管理職が確認してる。頻回ではないので、自分の中で気をつけて行ければいいと思ってた。
8	原因がはっきりわかっているから
9	次の業務があったから
10	答えを出せる者がいない。解決に導ける者がいない。

**問4(4)セ 相談した結果、状況は改善されなかった理由【自由記載】**

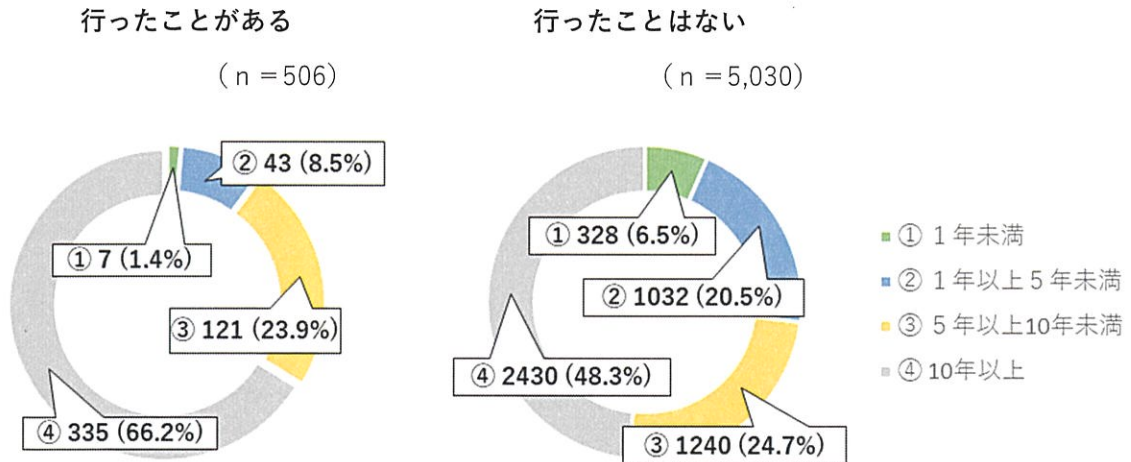
<主な内容>

1	人手不足で精神に余裕が持てない
2	人手不足や 体制など根本的な問題が解決しない為
3	施設全体で虐待についての意識が低く、改善しようとする気もない。
4	職場の環境や理解がない為。
5	人員不足、給料低すぎて介護を仕事にしたい人が入ってこなく職員もほぼ気持ちに余裕なくみえる
6	他の職員もイライラしてるから
7	1人が抱える仕事量が多くやるのがたくさんあり、代わりに頼める人がいないなど人員不足も原因
8	現状の把握までは相談できるが、解決するまではいかない。 多忙のため、解決されなかったり、現場の現状ではすべてを改善するのは厳しいと思う。
9	皆もそれが虐待と思わずに行っている
10	暴力からの自己防衛なので、改善はされないとします

## 虐待を行ったことがあると回答した職員の傾向について

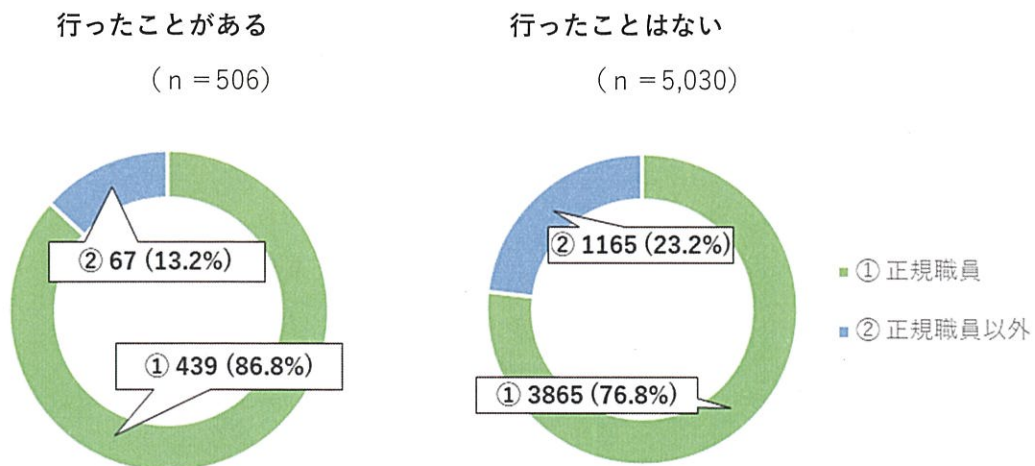
### 問1(1) 通算経験年数

\* 勤務年数が長い職員ほど虐待行為等を行ったことがある傾向にあります。



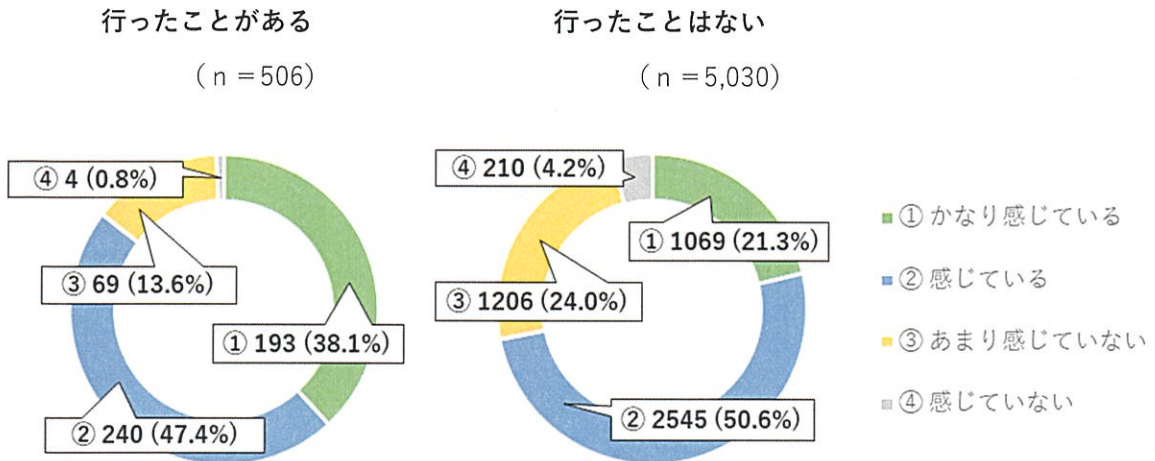
### 問1(2) 雇用形態

\* 正社員の方が虐待行為等を行った経験がある傾向にあります。



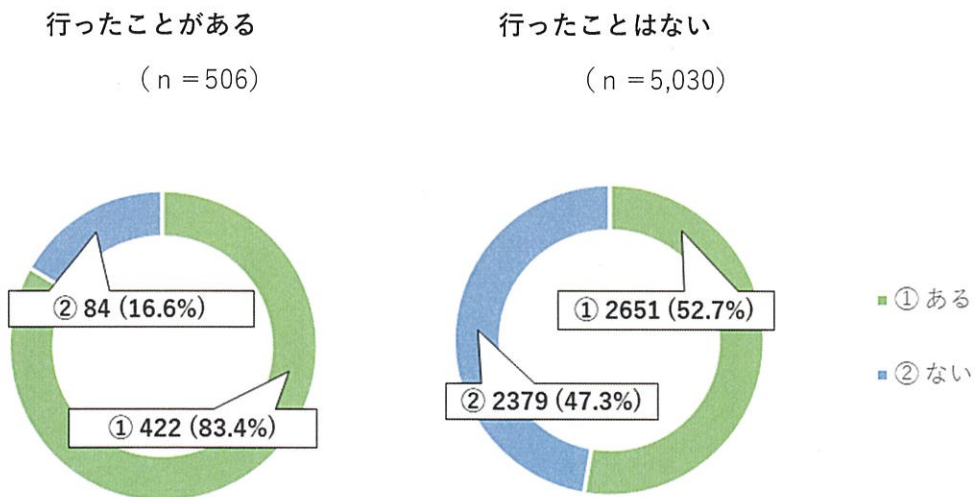
### 問2(1) 業務負担

\* 虐待行為等を行ったことがある職員は業務の負担感を強く感じている傾向にあります。



### 問2(3) クライアントハラスメントの状況

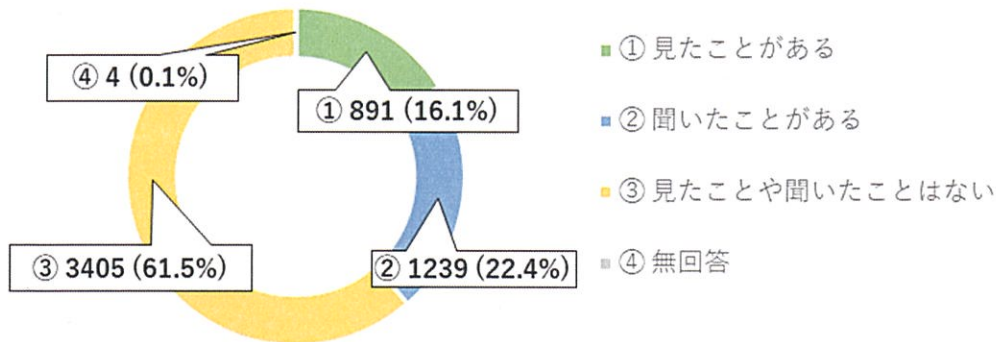
\* 虐待行為等を行ったことがある職員の多くがクライアントハラスメントを受けた経験があると回答している傾向にあります。



#### 問4(5) 虐待行為等を見聞きしたことの有無

\* 虐待行為等を見聞きしたことの有無は、「① 見たことがある」が16.1%、「② 聞いたことがある」が22.4%となっており、見聞きしたことのある割合は合計38.5%となっています。

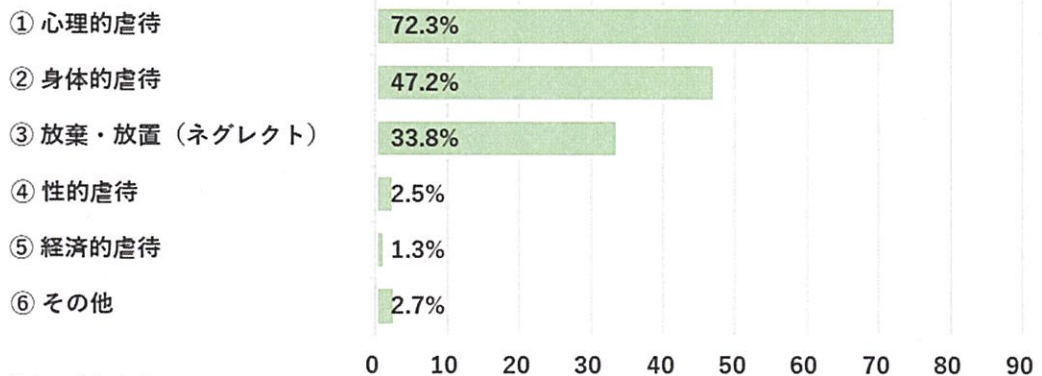
(n=5,539)



#### 問4(6)ア 見聞きした虐待行為等の内容【複数回答あり】

\* 見聞きした行為等の内容は、「① 心理的虐待」が72.3%と最も多く、次いで「② 身体的虐待」が47.2%、「③ 放棄・放置（ネグレクト）」が33.8%となっています。

(n=2,130)



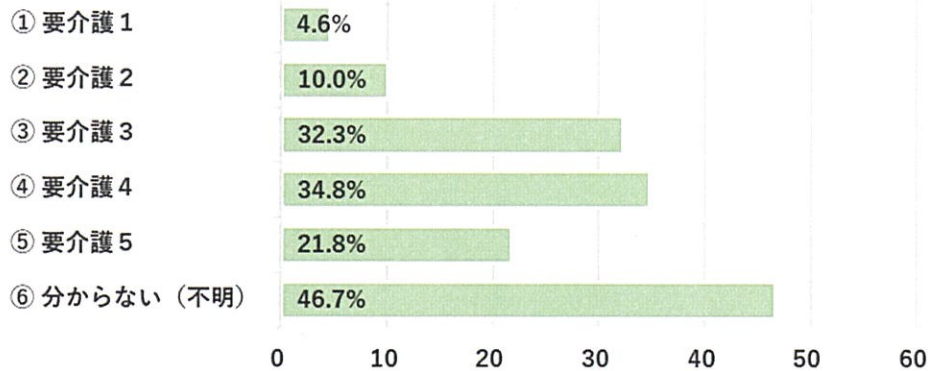
<「その他」の主な内容>

1	本人にはそれが不適切な言動と気がつかずご利用者様に声かけしている。
2	着替えをさせない
3	暴言の連呼
4	不適切、威圧的、感情的な言動
5	飲水時利用者様が嫌がっているにも拘らず後頭部を押さえて水を飲ませようとしていた。
6	ユニットの玄関を紐で縛り、行動の制限をした。
7	強い口調で命令
8	人手不足により、待たせてしまう
9	移乗介助の際に相手のペースを考えない介助方法により、入所者が腰を痛めた。
10	見守りカメラに写った入居者様の後ろ姿をみて「バーコード頭だ」と笑っていた。直接本人に伝わったわけではないが、聞いている側としては介護士としての人格を疑った。

**問4(6)イ 見聞きした虐待行為等の対象者の状態（要介護度）【複数回答あり】**

\* 見聞きした虐待行為等の対象者の要介護度は、「④ 要介護4」が34.8%となっており、次いで「③ 要介護3」が32.3%、「⑤ 要介護5」が21.8%となっています。

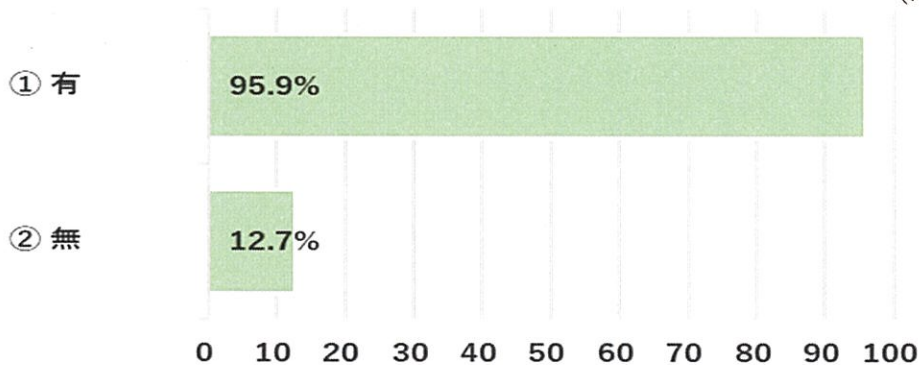
(n=2,130)



**問4(6)イ 見聞きした虐待行為等の対象者の状態（認知症の有無）【複数回答あり】**

\* 見聞きした虐待行為等対象者の認知症の有無は、「① 有」が95.9%となっており、「② 無」の12.7%を大きく上回っています。

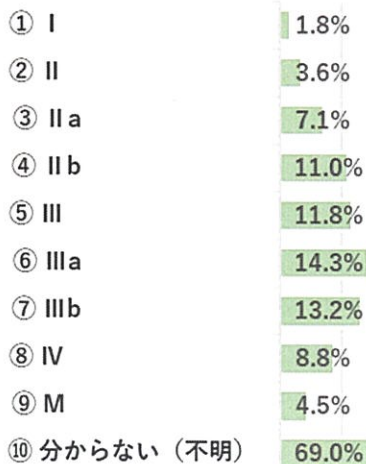
(n=2,130)



**問4(6)イ 見聞きした虐待行為等の対象者の状態（日常生活自立度）【複数回答あり】**

\* 見聞きした虐待行為等対象者の認知症高齢者の日常生活自立度は、「⑥ IIIa」が14.3%となっており、次いで「⑦ IIIb」が13.2%、「⑤ III」が11.8%となっています。

(n=2,043)



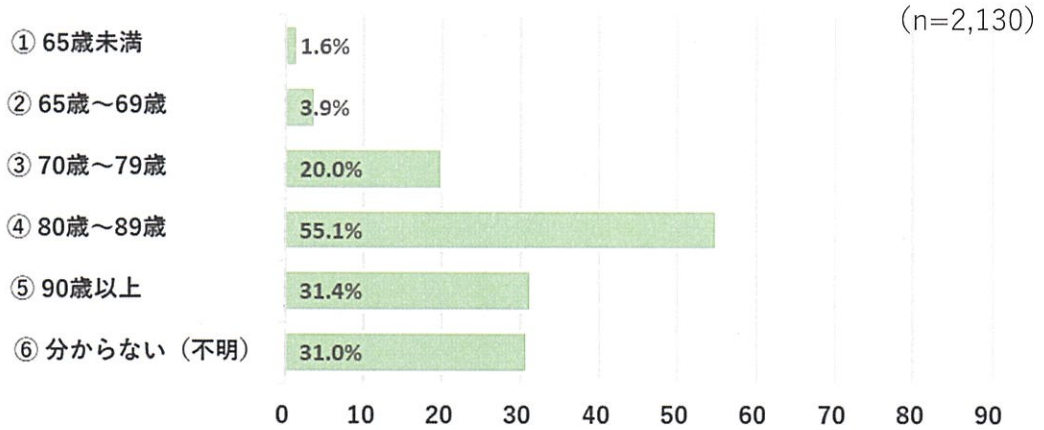
【日常生活自立度判断基準】

ランク	判断基準
I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。
II	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意して入れば自立できる。
IIa	家庭外でIIの状態が見られる。
IIb	家庭内でもIIの状態が見られる。
III	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。
IIIa	日中を中心としてIIIの状態が見られる。
IIIb	夜間を中心としてIIIの状態が見られる。
IV	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。
M	著しい精神症状や周辺症状あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。

0 10 20 30 40 50 60 70 80 90

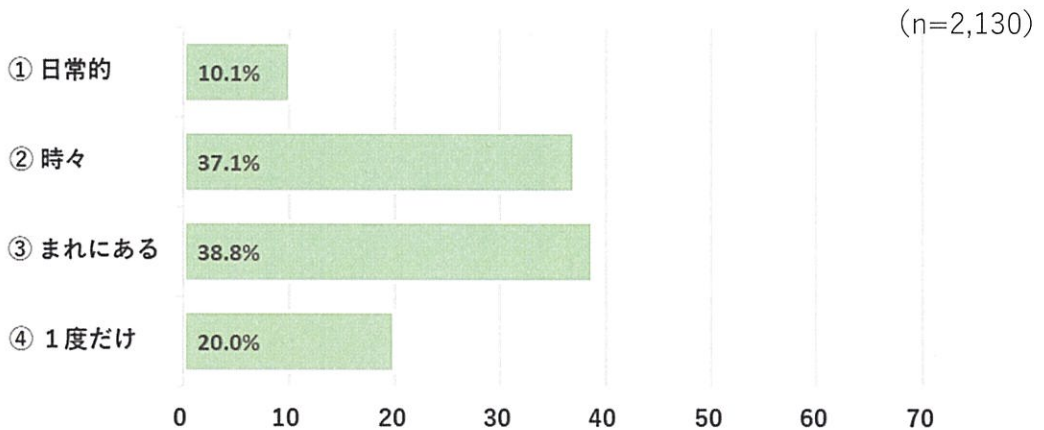
**問4(6)ウ 見聞きした虐待行為等の対象者の年齢【複数回答あり】**

\* 見聞きした虐待行為等の対象者の年齢は、「④ 80歳～89歳」が55.1%と最も多く、次いで「⑤ 90歳以上」が31.4%となっています。



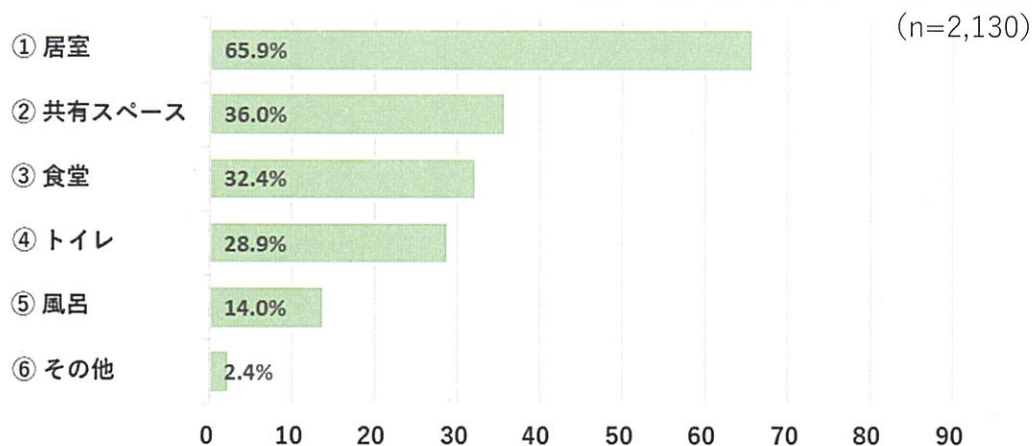
**問4(6)エ 見聞きした虐待行為等の頻度【複数回答あり】**

\* 見聞きした虐待行為等の頻度は、「③ まれにある」が38.8%と最も多く、次いで「② 時々」が37.1%、「④ 1度だけ」が20.0%となっています。



**問4(6)オ 見聞きした虐待行為等の場所【複数回答あり】**

\* 見聞きした虐待行為等の場所は、「① 居室」が65.9%と最も多く、次いで「② 共有スペース」が36.0%、「③ 食堂」が32.4%となっています。

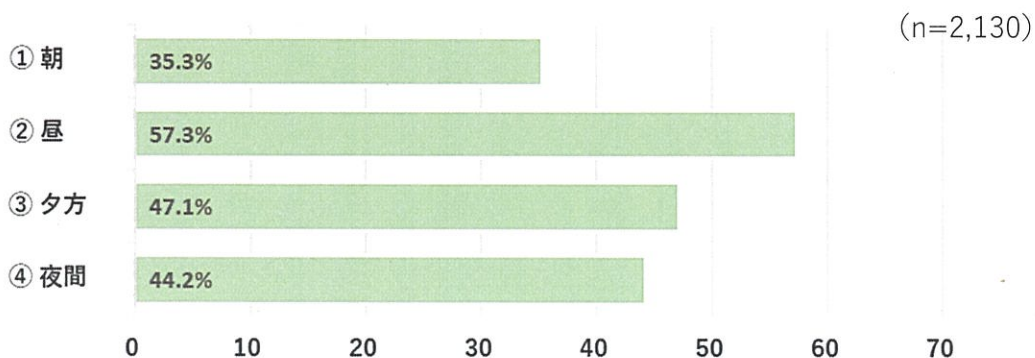


<「その他」の主な内容>

1	聞いただけで、分からない。
2	廊下
3	施設内の接する全域
4	浴室
5	廊下
6	洗面所
7	詳しい内容は伝えられていないので不明。
8	具体的な事は不明。
9	排便時、排便を触ろうとするため手を押さえるが利用者から叩かれるつねられる。手が動かないように手を押さえる。
10	夜間コール複数鳴ったとき

**問4(6)カ 見聞きした虐待行為等の時間帯【複数回答あり】**

\* 見聞きした虐待行為等の時間帯は、「② 昼」が57.3%と最も多く、次いで「③ 夕方」が47.1%、「④ 夜間」が44.2%となっています。

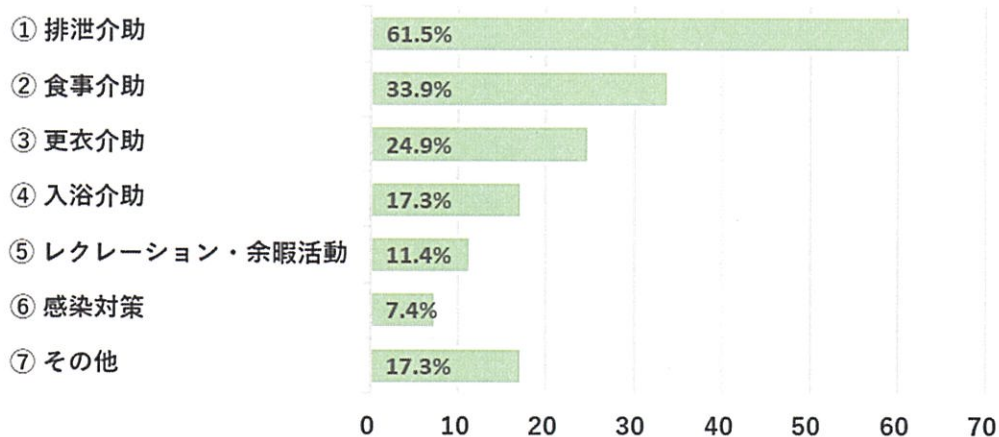




**問4(6)キ 見聞きした虐待行為等の場面【複数回答あり】**

\* 見聞きした虐待行為等の場面は、「① 排泄介助」が61.5%と最も多く、次いで「② 食事介助」が33.9%、「③ 更衣介助」が24.9%となっています。

(n=2,130)



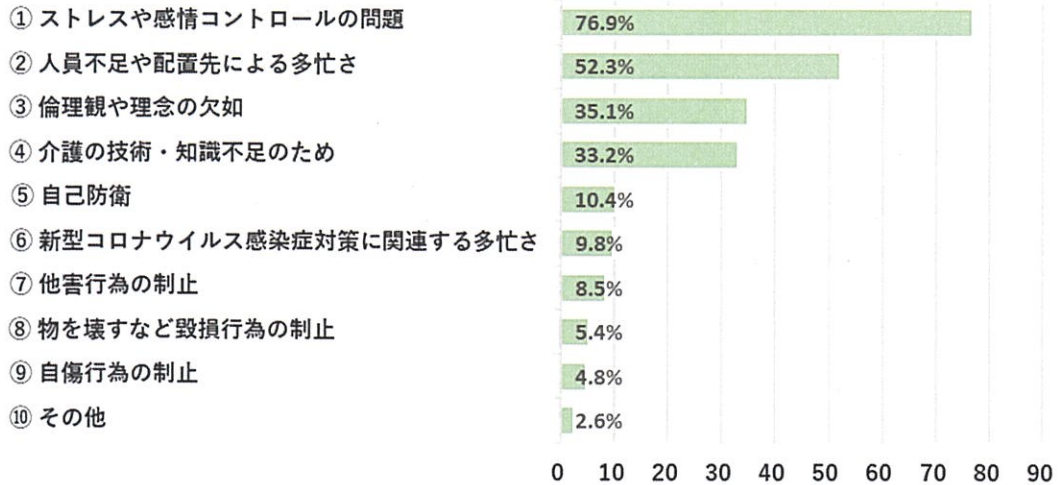
< 「その他」の主な内容 >

1	勝手に動いてしまい転倒の危険があった。その際に怒鳴るような声掛けを行っていた。
2	ナースコールの対応時。
3	車椅子からベッドへの移乗介助。
4	事故に繋がる危険な動作をしたとき。
5	服薬介助時。
6	利用者に対して、ひどい口調や態度で接していた。
7	動かないで等のスピーチロック。車椅子等を押さえる。
8	詰め所に同じ利用者様が何度も来られて、同じ訴えを繰り返したとき。
9	詳しくは知らない。
10	特にすることなどない比較的ゆったりとした時間帯。

**問4(6)ク 見聞きした虐待行為等のきっかけ・要因【複数回答あり】**

\* 見聞きした虐待行為等のきっかけ・要因は、「① ストレスや感情コントロールの問題」が76.9%と最も多く、次いで「② 人員不足や配置先による多忙さ」が52.3%、「③ 倫理観や理念の欠如」が35.1%となっています。

(n=2,130)



<「その他」の主な内容>

1	ベテランの方で利用者様に対しお客様という認識が甘かったと思われる。
2	人間性 性格の悪さ
3	人格の問題。言葉の語気もともと荒い。利用者からもクレームが聞かれる。
4	国の人員配置の少なさから、最低限だけなので利用者向き合って話してられない。個別に出来ない
5	職員同士のいじめがあり、利用者に対するストレスをどうしていいかわからない環境にあると思う
6	利用者様から殴られたりして、カッとなってしまったと思う
7	仕事量の多さ 人間関係で病んでしまう
8	他ユニットだったからわからない
9	めんどくさいから
10	その人じゃないから気持ちがわからない

**問4(6)ケ 見聞きした虐待行為等に関する報告・相談の有無**

\* 見聞きした虐待行為等に関する報告・相談の有無は、「① 相談した」が56.8%となっており、「② 相談しなかった」は43.2%となっています。

(n=2,130)

